



令和5年度 「かながわ自殺対策計画」の達成状況

令和6年11月22日

神奈川県健康医療局保健医療部がん・疾病対策課



かながわ自殺対策計画（第2期）の目標値

人口動態統計

		令和4年		
自殺者数	1,369人	1,472人	1,404人	—
自殺死亡率	15.2	16.4	15.7	

目安とする施策と令和5年度達成状況（項目1～10） A:100%以上 B:70～100% C:50～70% D:20～50% E:20%未満

施策番号	施策名			達成度
2-(1)①	1	ン・講演会の実施	県・市町村・民間団体共同で、自殺予防週間を中心とした街	A
	2	女性に対する自殺対策に関する相談窓口の周知	理容院・美容院を通じたリーフレット配布	配布部数：135,00部 年 B
2-(1)②	3	生涯学習指導者研修	行政の職員を対象に人権教育を実施	A
	4	教育事務所人権教育研究講座	社会教育関係団体に関わる指導者等を対象に人権教育を実施	A
2-(2)①	5	「いのちの授業」の実践	いのちの授業大賞への応募作品を授業で活用	A
	6	中学生・高校生に対する「いのちの大切さを学ぶ教室」の推進	犯罪被害者の状況等を学ぶ	開催回数：4回 年 B
2-(2)②	7	いのち」を大切にすることをはぐくむ	県内の小・中学校から選定された、推進校4校において、	年 A
2-(3)① 6-(7)① 10-(5)①	8		主に若年者層が、ストレスチェック及び相談支援窓口情報を	アクセス数 75,00件 年 C
2-(3)① 6-(6)④ 6-(7)① 6-(15)① 10-(5)①	9		自殺願望につながる表現が投稿された時に、県の相談窓口等の広告が表示される	広告のクリック数：45,00回 年 A
2-(3)② 4-(2)③ 6-(14)①		性的マイノリティ（LGBT等）交流相談・研修事業	当事者の交流事業を実施と企業担当者や、児童福祉施設職員	B

目安とする施策と令和5年度達成状況（項目1～10） A:100%以上 B:70～100% C:50～70% D:20～50% E:20%未満

施策番号		施策名		達成度
2-(4)① 5-(5)③	11	うつ病講演会の開催	うつ病などの心の病気を学び、心の不調に悩む人のサポート	B
2-(4)②	12		うつ病などの心の病気を学び、心の不調に悩む人をサポートする「こころサポーター」を養成	E
3-(1)① 10-(5)②	13	大学生向けゲートキーパー養成研修の実施	自分や友人、家族等の心の不調に気づき、適切に対応できる「ゲートキーパー」を養成	てゲートキーパー養成研修を実施 A
3-(2)① 5-(2)① 5-(3)① 5-(4)① 12-(1)①	14	こころといのちの地域医療支援事業	内科等の身体科の医師のうつ病対応力を向上	5年間の受講修了者累計 1,350人（政令市含む） A
3-(3)① 10-(3)①	15		小・中・高校等の教職員及び児童・生徒が、自殺対策やストレス対処法についての知識を深める	B
	16			A
3-(4)① 3-(8)① 3-(9)① 8-(4)①	17		自殺の現状、自殺対策、自死遺族支援、自殺未遂者支援等を	各研修 年2回実施 A
3-(4)① 3-(9)①	18	ゲートキーパー養成研修	市町村職員のゲートキーパーを養成すると共に、研修講師としての人材を養成	計47,500人 A
3-(4)② 3-(10)①	19	ゲートキーパーフォローアップ研修	行政機関のゲートキーパー講師による上位研修	A
3-(5)①	20		ケアマネジメントに必要な業務に関する知識及び技術を修得	以下研修を毎年度回以上実施 ア：専門研修過程、イ：更新研修 ウ：主任介護支援専門員研修 エ：主任介護支援専門員更新研修 A

目安とする施策と令和5年度達成状況（項目1～10） A:100%以上 B:70～100% C:50～70% D:20～50% E:20%未満

施策番号		施策名		達成度	
3-(5)②	21	研修の実施	各地域の老人クラブ会員対象の研修	全ブロックの地域で実施 (令和4年度～5年度)	A
4-(1)④ 11-(2)④	22		経営層や人事労務担当者を対象とする	年1回	A
	23	職場のハラスメント対策等		37件 / 年	A
4-(2)④	24		電話相談で本人や家族等に対し、適切な治療や対応に関する	年間でアルコール相談員研修受講	B
	25	薬物乱用防止の推進	関係機関の職員の薬物依存症についての研修を実施	研修年回 実施 受講者数 70人	A
4-(2)③ 6-(14)④	26	かながわSOG派遣相談	性的マイノリティ（LGBT等）の当事者及びその家族、支援者を対象とする専門相談	相談実施回数：6回 / 年	C
4-(2)⑥	27	ふれあい心の友訪問援助事業	ひきこもり・不登校等の児童の社会適応を援助するため、児童の兄・姉に相当する世代のメンタルフレンドを派遣し、児童との交流を図る	派遣回数：8回 / 年	A
4-(3)④ 10-(2)④	28	県立高等学校・県立中等教育学校へのスクールカウンセラー配置	心理の専門家であるスクールカウンセラーの配置を拡充し、		A
	29		福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーの配置を拡充し、より多くの生徒等に対応する	スクールソーシャルワーカー	A
	30		生徒の悩みや相談に耳を傾けながら教職員と連携し、学校全体で生徒一人ひとりの支援の充実を目指す	スクールメンター 2名 配置 / 年	A

目安とする施策と令和5年度達成状況（項目1～10） A:100%以上 B:70～100% C:50～70% D:20～50% E:20%未満

施策番号	施策名			達成度
4-(3)① 10-(2)①	31 県立学校への自殺予防の啓発	教職員向け指導資料の活用 教職員向けゲートキーパー研修を各学校で実施		A
	32 公立中学校へのスクールカウンセラー配置	全公立中学校（政令指定都市を除く）にスクールカウンセラーを配置し、児童・生徒の問題行動等の未然防止や早期対応を図る	県内中学校への配置10%	A
	33 各教育事務所へのスクールソーシャルワーカー配置	スクールソーシャルワーカーの配置拡充により、問題を抱えた生徒への働きかけや関係機関等とのネットワークの構築等支援する	スクールソーシャルワーカー5人	A
4-(3)② 10-(2)②	34 地域連携による高校生のこころサポート事業	本事業推進校に指定された学校の活動報告を、生徒指導担当者を対象とする会議等において発表することで、関係機関と連携したケース会議や職員への啓発研修等の成果の普及を図る		A
3-(3)② 4-(3)③	35 県内公立学校への自殺予防の啓発	県内公立学校の保健関係教職員を対象に研修を実施		A
4-(4)①	36 災害派遣精神医療チーム（DPAT）体制整備	災害、犯罪被害、事故等の緊急時において、専門的なこころのケアが円滑に行われるよう、運営委員会の開催と研修会を		A
5-(2)② 5-(6)②	37 精神科看護職員研修事業	認知行動療法等に関する研修を実施し、専門性の向上に取り組む	研修受講者数：新人、中堅	A
5-(5)①	38	神奈川県薬剤師会会員の「くすりと健康相談薬局」「健康サポート薬局」「地域連携薬局」等にて、うつ病啓発活動を行う		E
5-(6)①	39 依存症専門医療機関の選定	「依存症専門医療機関」の選定を、地域における依存症の医	選定医療機関：10箇所以上 (令和5年度時点)	C
5-(6)②	40 (保健・福祉・介護・司法等相談従事者向け)	族支援に関する研修を実施	依存症セミナー等受講者箇所年累計1,000人	A

目安とする施策と令和5年度達成状況（項目1～10） A:100%以上 B:70～100% C:50～70% D:20～50% E:20%未満

施策番号	施策名	達成度
6-(1)①	41 かながわこころの情報サイト	目的ごとの相談窓口を確認できるホームページの運用 アクセス件数：15,000件以上/年 B
6-(1)②	42 包括相談会の開催	複数の分野にまたがる相談内容について、専門家がワンストップで行う相談会の開催 実施回数：回/年 A
6-(3)① 6-(5)①	43 暮らしとこころの相談会	相談会開催 2回/年 A
6-(1)③	44 発達障害支援体制の推進 (発達障害支援センターにおける相談の実施)	相談対応、就労支援や発達支援、発達障がい児者のライフステージに対応する一貫した支援を行う B
	45	神奈川県総合リハビリテーションセンターが、地域の相談支 A
	46 障がい福祉相談支援体制の整備促進	障がい保健福祉圏域ごとに自立支援協議会を設置し、重層的 各保健医療圏域ごとの協議会開催 年回以上 B
6-(2)①	47 多重債務者相談の周知及び多重債務防止のための普及啓発	相談窓口の周知により、多重債務状態に陥っている人等に相談窓口を案内し、関係機関につなげる 3,500部/年 A
	48 多重債務者特別相談会の実施	国の「多重債務者相談強化キャンペーン」に基づき、特別相談会を実施 実施回数：回/年 A
6-(8)②	49 青少年のスマホ利用保護者啓発リーフレット	保護者に向け啓発するリーフレットを作成し、青少年のトラ 作成数：100,000部/年 B
6-(9)③	50 かながわケアラー支援ポータルサイト	県ホームページにおいて、ケアラー支援に関する情報提供等 アクセス数累計 54,000件以上/年 C

目安とする施策と令和5年度達成状況（項目1～10） A:100%以上 B:70～100% C:50～70% D:20～50% E:20%未満

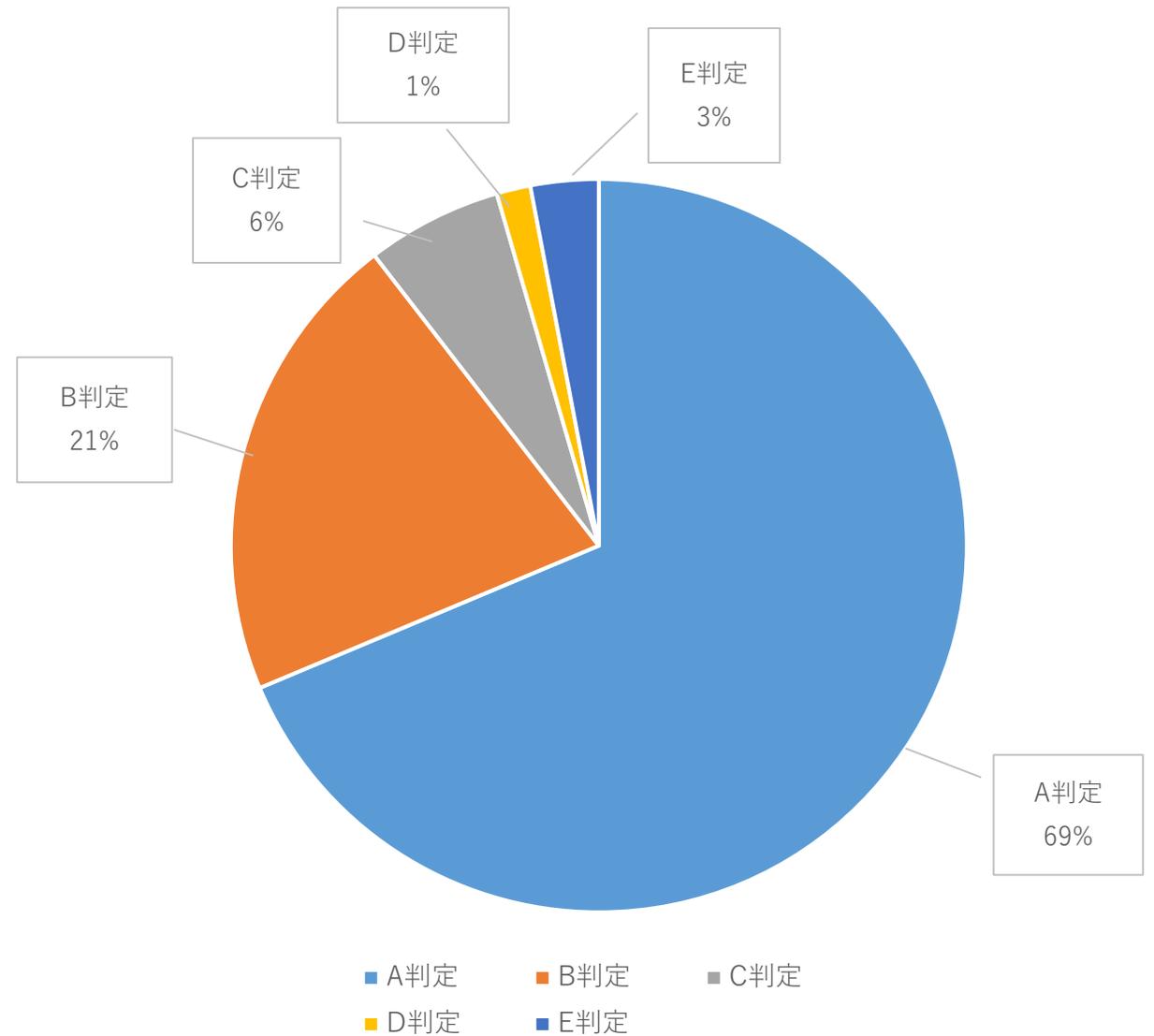
施策番号	施策名			達成度
6-(10)① 6-(11)② 6-(16)①	51 かながわ子ども・若者総合相談事業	電話または面接により困難を抱える子ども・若者の悩みを聞き、必要に応じて適切な支援機関を紹介する	全体会議回、ブロック会議回 子ども・若者支援者セミナー 開催数：四、受講者7名 年	A
7-(4)① 10-(4)③ 10-(5)③	52 神奈川県ひきこもり地域支援センター事業	ひきこもり当事者や家族の高齢化に対応するため、電話または面接により相談支援を行い、関係機関と連携する		A
6-(11)① 10-(4)①	53 支援を要する児童へのメンタルフレンドの派遣	ひきこもり・不登校等の児童を援助するため、児童の兄・姉世代に相当する世代を中心としたメンタルフレンドを児童の家庭に派遣、児童との交流を図る	派遣回数：8回 年	A
6-(12)①	54 ワンストップ支援推進事業	制度及び相談窓口の周知・充実強化、相談支援員の資質向上に取り組み、支援を推進する	研修の受講者数：15名 年	D
6-(16)① 7-(4)①	55	緊急的に居住の場を失うケアリーバーに対し提供できる一時的な滞在場所を用意し、あすなろステーションの分室での相談室での相談機能を強化する	80件 年	A
7-(3)① 7-(5)①	56 自殺未遂者支援研修の実施	関係機関職員を対象に研修会を開催	年回 実施	A
7-(5)②	57	司法書士が入院先に赴き、自死未遂者及び家族等の相談を受		A
8-(1)① 9-(1)②	58	大切な方を自死で亡くされた方の集いの開催		B
9-(1)①	59 障がい者虐待防止対策	関係機関の人材を養成するための研修を開催	受講者数：10名 年	A
10-(1)①	60 いじめ・暴力行為問題対策協議会	私立中学高等学校協会、私立小学校協会、私学保護者会連合会の役員と協議、情報提供を行う	聘し協議会を開催数 回 年	A

目安とする施策と令和5年度達成状況（項目1～10） A:100%以上 B:70～100% C:50～70% D:20～50% E:20%未満

施策番号		施策名		達成度
10-(1)④	61		県内私立小・中・高等・中等教育・特別支援学校の教職員を対象に研修会を実施	A
10-(1)②	62	いじめ防止対策推進法の推進	各学校におけるより効果的な研修等を実施する。また、関係機関や家庭・地域との連携の実現を目指す。	A
10-(3)②	63	SOSの出し方に関する教育の推進	各学校の実情や児童生徒の発達段階に応じた、SOSの出し方に関する教育に取り組む 「24時間子どもSOSダイヤル」等の相談窓口について学校への周知を図る	A
10-(5)④	64		キャリアカウンセリングや就職情報の提供等を実施し、若年者の就職活動を支援する	た者の就職等進路決定率55.0%以上 B
10-(5)④	65		ニート等の若者の職業的自立に向け個別・継続的に包括的な支援を行う	就職率：50% A
11-(1)④	66	セミナー、講演会等の開催	企業向けにワーク・ライフ・バランスのセミナー等を実施する	セミナー等への参加者数150人/年 B
12-(2)②	67	女性のためのキャリアカウンセリング	女性カウンセラーによるキャリアカウンセリングを実施し、女性の就職活動を支援す	リング相談室」でキャリアカウンセリングを利用した者の就職等決定率：20%以上 B

令和5年度かながわ自殺対策計画達成状況まとめ（目安とする施策）

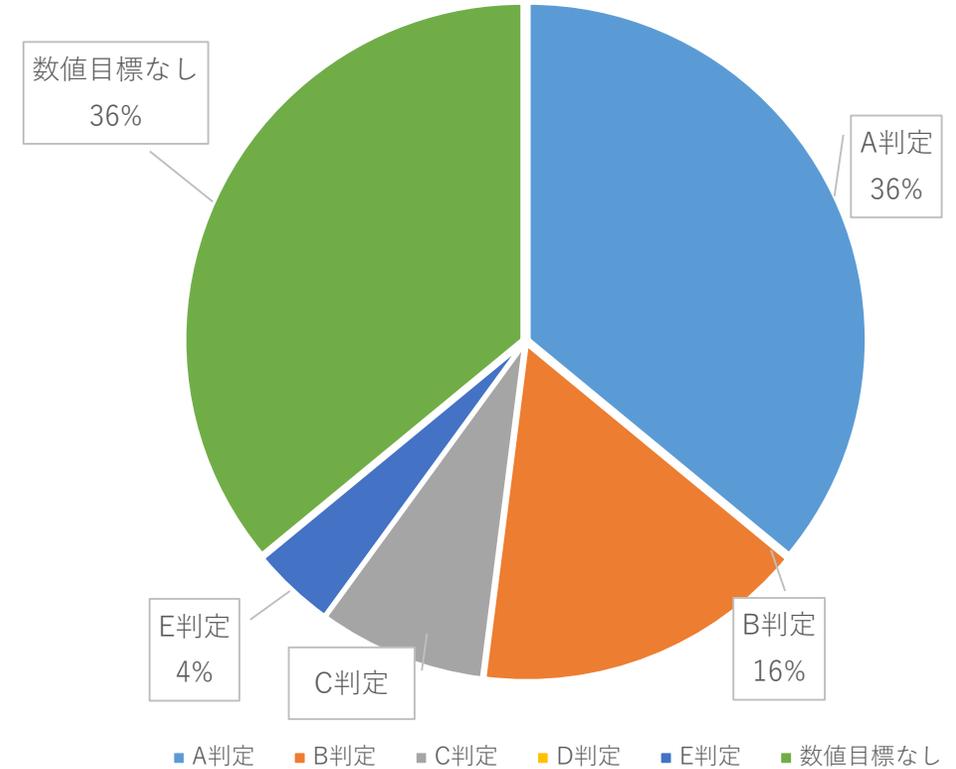
達成度		事業数 (計画事業6事業)
	100% 以上	
	70% 以上 100% 未満	
	50% 以上 70% 未満	
	20% 以上 50% 未満	
	20% 未満	



令和5年度かながわ自殺対策計画達成状況まとめ（全体：項目別）

2 県民一人ひとりの気付きと見守りを促す

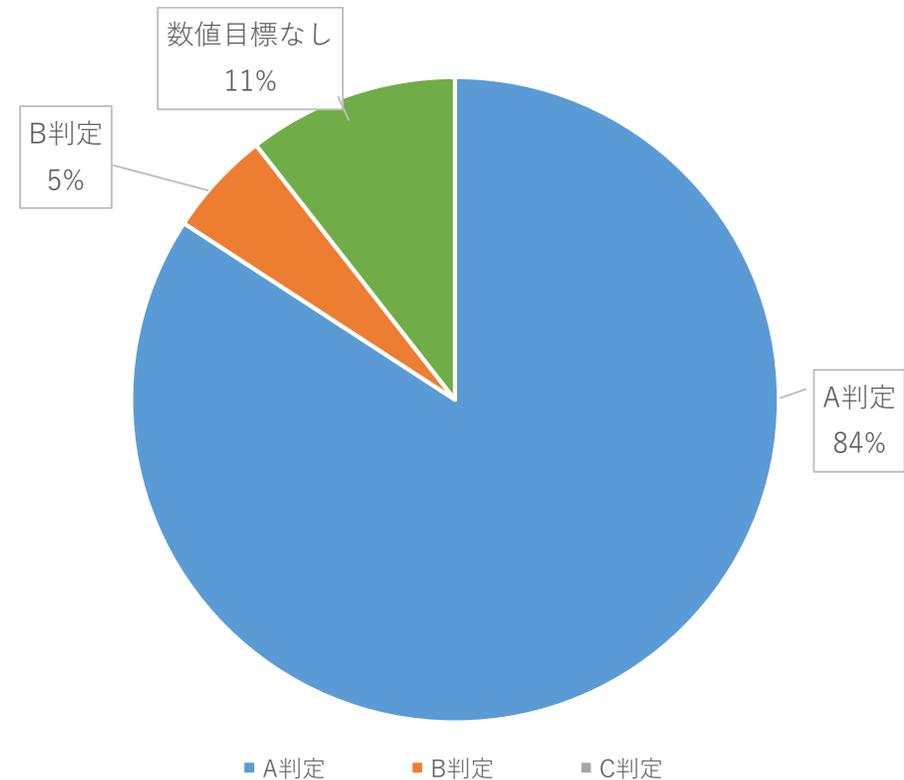
達成度	事業数（25）
100% 以上	9 事業
70% 以上 100% 未満	4 事業
50% 以上 70% 未満	2 事業
20% 以上 50% 未満	
20% 未満	1 事業



- 研修やチラシ等の相談窓口の周知は概ね実施できていた
- 【24】ストレスチェックナビのアクセス数の伸び悩みがある
- 【25】X（旧Twitter）の広告事業では、目標値を大幅に上回るアクセス件数あり（対象者への周知）
- 【32】心のサポーター養成研修の目標達成は難しい状況。目標値の検討も必要

3 自殺対策に関わる人材の確保、養成及び資質の向上を図る

達成度		事業数 (19)
	100% 以上	
	70% 以上 100% 未満	
	50% 以上 70% 未満	
	20% 以上 50% 未満	
	20% 未満	
		2 事業

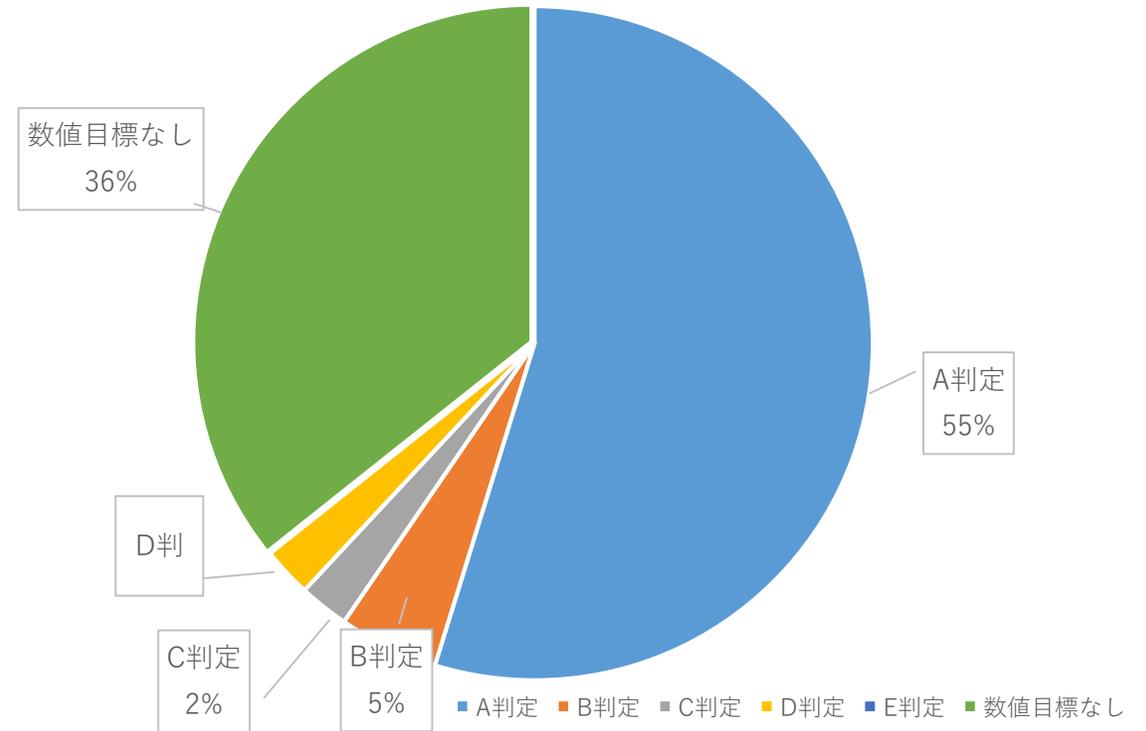


○研修や講演会の事業はオンライン等含めて取組んでいる

○【38】 県内私立学校への自殺予防の啓発に向けて、私立学校の状況把握、連携を行う必要がある。

4 心の健康を支援する環境の整備と心の健康づくりを推進する

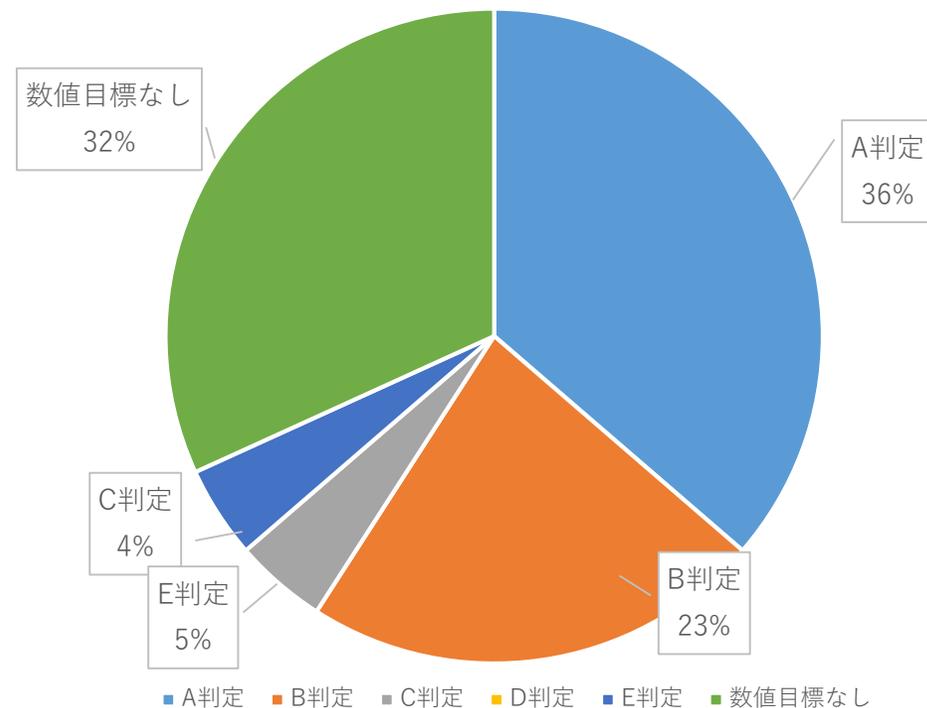
達成度		事業数 (38)
	100% 以上	
	70% 以上 100% 未満	2 事業
	50% 以上 70% 未満	1 事業
	20% 以上 50% 未満	1 事業
	20% 未満	



- 労働関係、こころの相談、依存症、高齢者、性的マイノリティ、生活困窮者、子ども・若者、ひきこもりと様々な相談窓口を設置し、運営できている。
- 【68】 かながわSOGI派遣相談、【71】 ワンストップ支援推進事業について周知が必要である

5 適切な精神保健医療福祉サービスを受けられるようにする

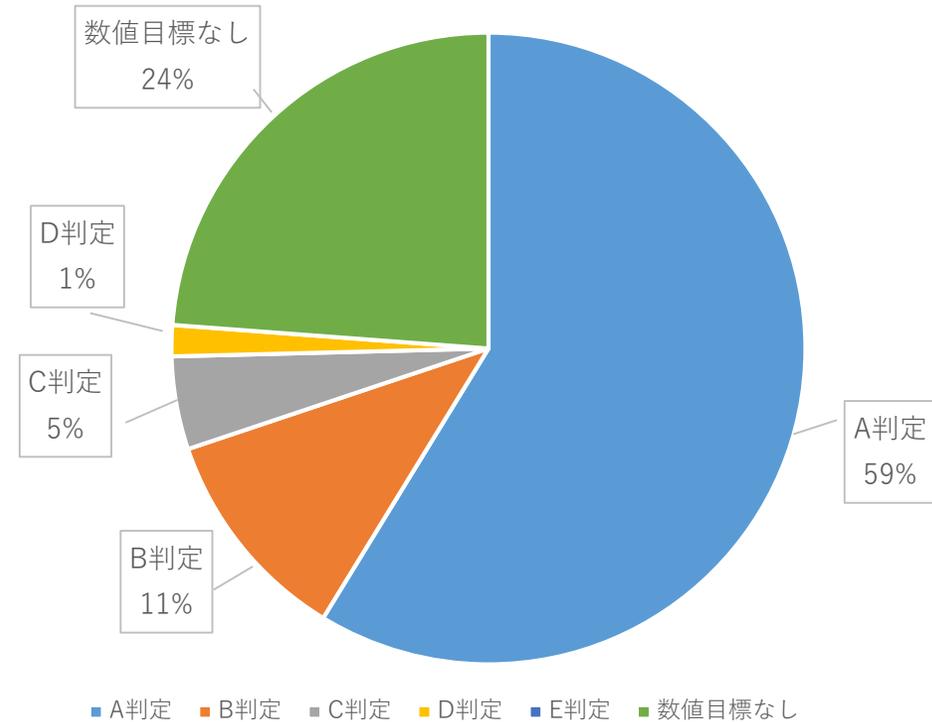
達成度		事業数 (2)
	100% 以上	8 事業
	70% 以上 100% 未満	5 事業
	50% 以上 70% 未満	1 事業
	20% 以上 50% 未満	
	20% 未満	1 事業



- 支援者の質の向上等の研修については概ね実施できている
- 【104】 依存症専門医療機関の選定など医療体制の整備は調整等の時間を要するため、引続き取組が必要
- 【97】 薬局を通じた普及啓発が薬局数の減少となりE

6 社会全体の自殺リスクを低下させる

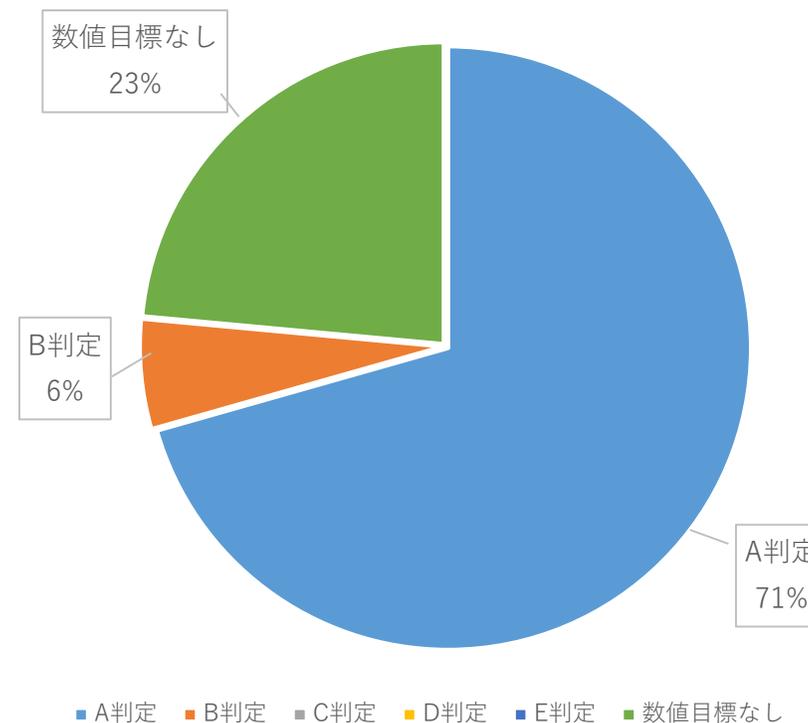
達成度		事業数 (65)
	100% 以上	
	70% 以上 100% 未満	
	50% 以上 70% 未満	3 事業
	20% 以上 50% 未満	
	20% 未満	



- 相談種別ごとの相談窓口等を設置、運営できている。今後も相談窓口等の周知を図っていく
- 【150】ひきこもり支援における新たな居場所づくりの検討では、メタバースを活用。多くの参加があり、次年度期間を延長、交流を促す予定
- 【163】生活困窮総合ポータルサイト「さぽなびかながわ」のアクセス数は、R9までに累計70,000件としており、R5時点で69,089件と順調に伸びている
- 【175】ケアラー支援事業の相談件数を800件/年としているが、相談機能を強化し、1,440件となっている

7 自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐ

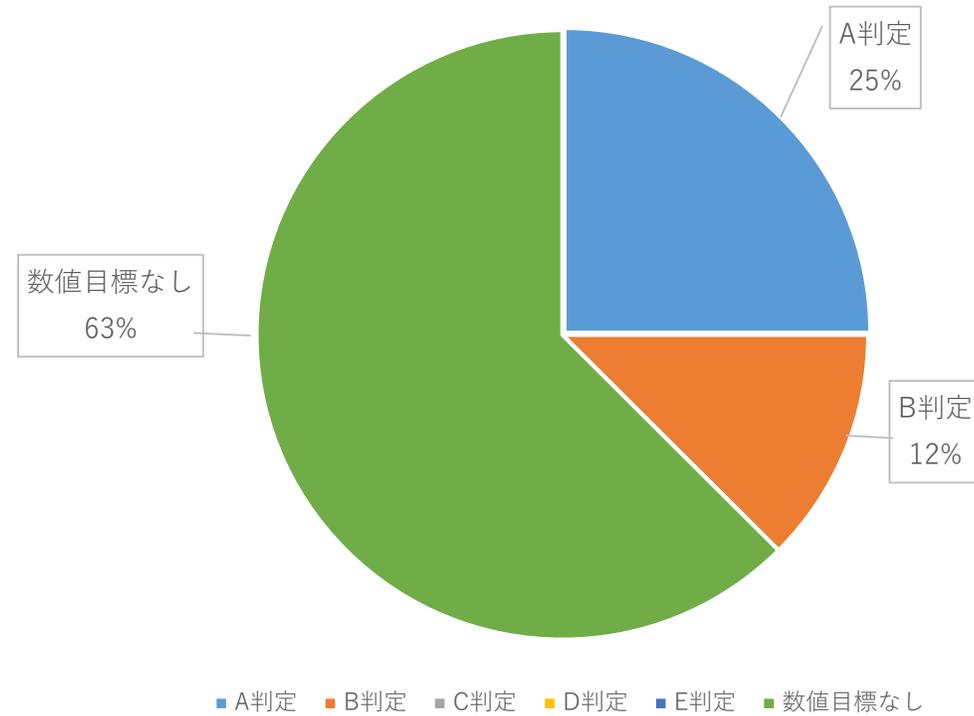
達成度		事業数 (14)
	100% 以上	
	70% 以上 100% 未満	1 事業
	50% 以上 70% 未満	
	20% 以上 50% 未満	
	20% 未満	
		4 事業



- 各保健福祉事務所で自殺対策の協議を行うことができています
- 東海大学付属病院に委託している、自殺未遂者支援事業において、退院1か月後の電話フォローを約7割実施できており、希死念慮の有無について再確認している

8 遺された人への支援を充実する

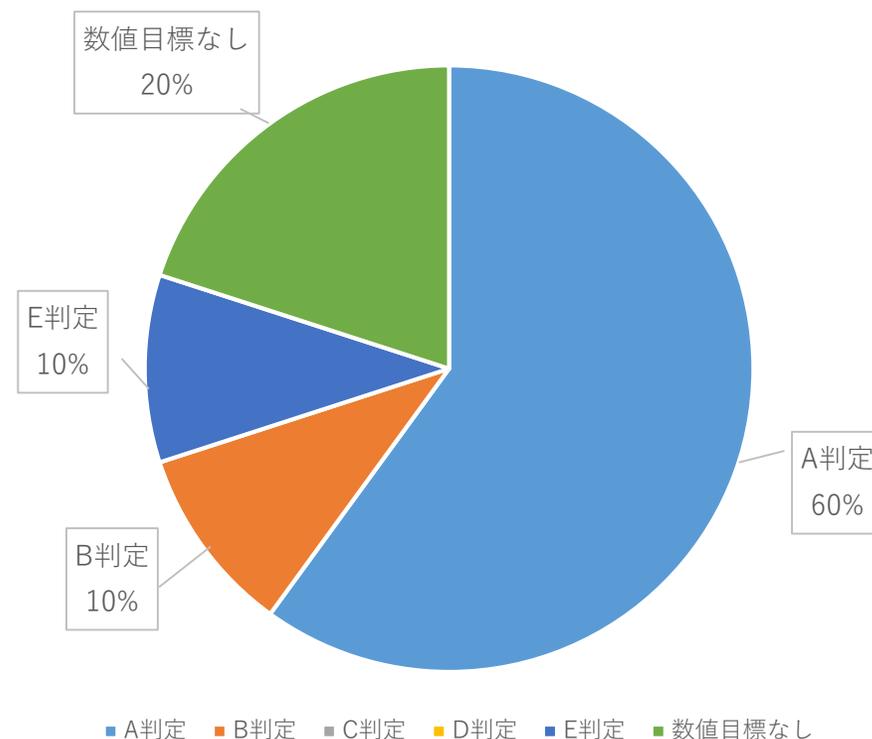
達成度		
	100% 以上	2 事業
	70% 以上 100% 未満	1 事業
	50% 以上 70% 未満	
	20% 以上 50% 未満	
	20% 未満	
		5 事業



○取組事業数は少ないが、【191】自死遺族の集い、【自死遺族相談】など自死遺族のフォーカスした取組を運営できている

9 民間団体との連携を強化する

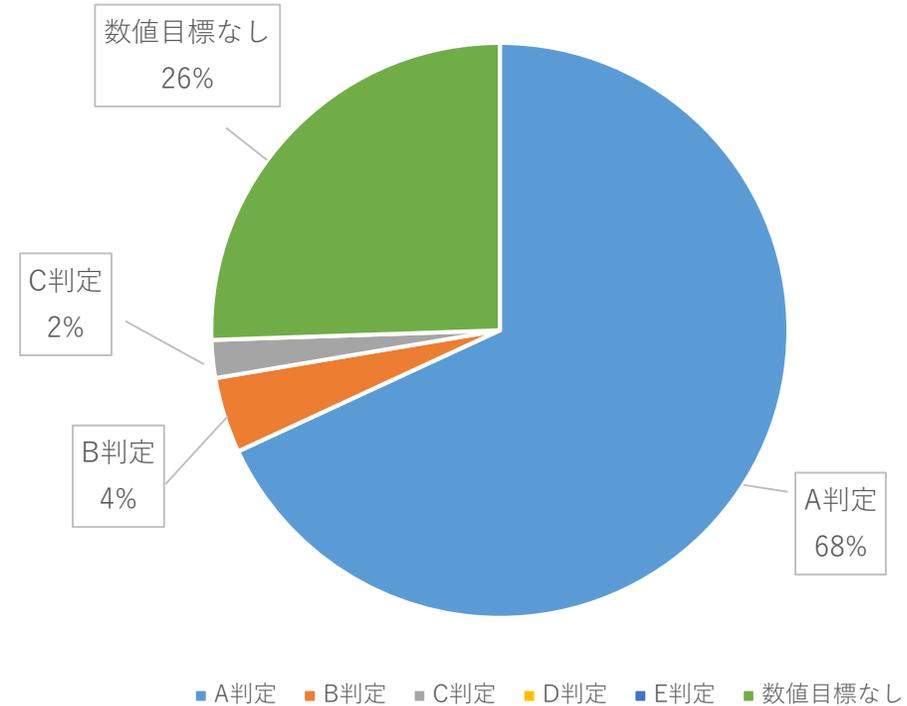
達成度		事業数 (10)
	100% 以上	6 事業
	70% 以上 100% 未満	1 事業
	50% 以上 70% 未満	
	20% 以上 50% 未満	
	20% 未満	1 事業
		2 事業



- 【200】 電話相談関係機関業務研修会の開催は、精神保健福祉センターで実施していた電話相談を令和5年より委託したため、今後内容を検討していく
- 【204】 自殺対策検討会の実施において、各保健福祉事務所において関係機関と連携した取組を協議を行っている
- 【206】 地域自殺対策ハイリスクネットワーク会議では、宮ヶ瀬湖周辺の自殺対策のついて多くの機関と協議、連携を行っている
- 【207】 ホームドアの設置促進も設置が進んでいる

10 子ども・若者の自殺対策を更に推進する

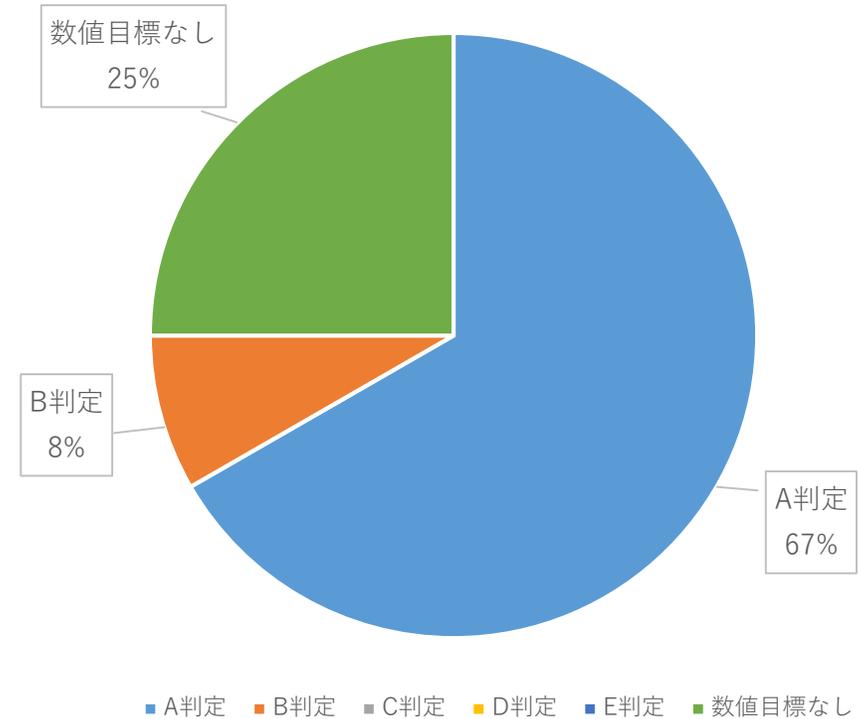
達成度		事業数 (40)
	100% 以上	
	70% 以上 100% 未満	2 事業
	50% 以上 70% 未満	1 事業
	20% 以上 50% 未満	
	20% 未満	



- 子ども・若者に関する相談支援を行うことができている。【214】24時間子どもSOSダイヤルでは、命にかかわる緊急性の高い相談や多様な悩みへの対応への課題があがっている
- SC、SSW、スクールメンターの配置はできている。校内の支援体制や各機関との連携強化をはかっていく
- 【239】ストレスチェックのアクセス件数の伸び悩みあり。子ども・若者への周知を図る必要あり

11 勤務問題による自殺対策を更に推進する

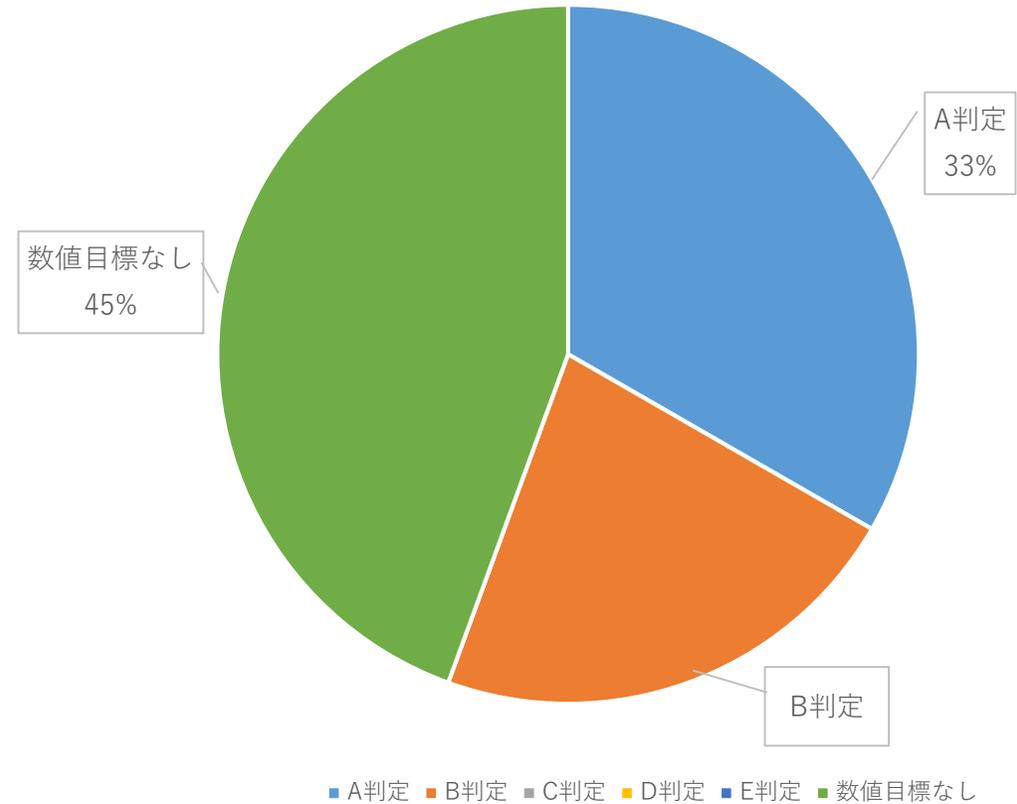
達成度		
	100% 以上	8 事業
	70% 以上 100% 未満	1 事業
	50% 以上 70% 未満	
	20% 以上 50% 未満	
	20% 未満	
		3 事業



- 雇用労政課の取組を中心に、相談支援、研修の取組を順調に行うことができている
- 【250】セミナー、講演会の開催では、企業の経営者や人事担当者向けに行ったが、募集人数を下回った。引き続きセミナーの開催していく
- 【254】職場のハラスメント対策等では、中所企業への訪問事業を目標370件であるが、394件実施

12 女性の自殺対策を更に推進する

達成度		
	100% 以上	3 事業
	70% 以上 100% 未満	2 事業
	50% 以上 70% 未満	
	20% 以上 50% 未満	
	20% 未満	
		4 事業



- 【259】 ころろといのちの地域医療支援事業では目標270人のところ、300人の参加者あり。うつ病を早期に発見し、治療につなげるために引き続き身体科医師との連携を促していく
- 女性の労働者に対する支援は順調に運営できている
- 配偶者からの暴力、性犯罪・性暴力被害者への相談窓口も運営できている。

課題の検討が必要な事業

達成度	事業数

施策名		進捗状況	
	アクセス数 75,000件 年	アクセス数 40,805年	周知方法の工夫 広告媒体の再検討
26 かながわSOG派遣相談	相談実施回数：6回 年	相談実施回数：3回 年	
39 依存症専門医療機関の選定	選定医療機関：10箇所以上 (令和5年度時点)		湘南地域や県西地域の医療機関不足、偏在性 市町村と連携、選定に努める
50 かながわケアラー支援ポータルサイト	アクセス数累計：54,000件 以上年	アクセス数累計：34,096年	掲載内容をより充実させる

課題の検討が必要な事業

達成度	事業数

施策名		進捗状況	
54 ワンストップ支援推進事業	研修の受講者数：150人 年	研修の受講者数：63人 年	周知方法の工夫 支援員同士のネットワークづくり

課題の検討が必要な事業

達成度	事業数

施策名		進捗状況	
		養成者数：79人	県、政令市だけではなくより多くの自治体への開催の働きかけ 職域や学生への周知、開催

まとめ

- 計画の目安とする施策67事業において、A,B判定合わせると8割は計画の目標を達成できている。社会情勢に左右される、自殺に至る原因が複数か絡みあっていることから、自殺死亡率を減少させるために、行政の取組だけでなく、官民協同の取組が必要である
- 相談対象者別、各相談種類別の相談窓口の体制整備、拡充されている。認知等に向けての広報や周知の取組の必要がある
- 子ども・若者の対策では、公立学校においては教育委員会等で多くの取組があり、実践でされている。私立学校における取組を把握していく必要がある